

はあるのか。

- ①オープニングをもっと賑やかに、盛り上がるものにしたい。
 - ②金管パレードのコース、合同演奏の場所等一考の余地がある。倉吉未来中心広場等の活用等も考えられるのではないか。
- 『企画振興部長答弁』実行委員会は、市長を実行委員長として43名で構成している。みこし部会、パレード部会等5つの専門部会がある。



オープニングが寂しいという指摘はあった。専門部会等で検討していただきたい。金管パレードについては「打吹まつり」という名のおり、打吹山をバックに演奏することに意義がある。倉吉未来中心はエリアから若干外れる。だからあの跡地の駐車場等も考えられるのではないかと思う。

<金管市中パレード>

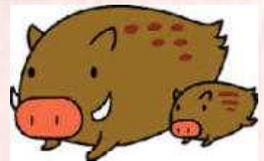
「鳥獣被害総合対策事業」について

- ③『質疑』イノシシ等の捕獲の実態、捕獲方法について尋ねる。「鳥獣害総合対策」は考えていないのか。イノシシ、シカ等を使ってのビジネス、捕獲・加工・処理システムの研究・開発をすすめ、中山間地の有力なビジネス、倉吉版地方創生の目玉としてはどうか。



『産業環境部長答弁』捕獲実態は、平成24年イノシシ165頭、シカ2頭であったが、平成26年イノシシ273頭、シカ12頭と増えている。捕獲方法は鉄砲での捕獲と仕掛け罠の方法である。

処理加工施設、安定供給、食材としての認知等課題はあるが、産業化することは有効だと考えている。現在、鳥取中部イノシシ産業化プロジェクトとして狩猟～飼育・解体・加工～販売の動きがある。地方創生の中でシステム化していくよう検討している。



「打吹公園管理」について

- ④『質疑』打吹公園及び飛龍閣の利用者数と来年度の整備計画、今後の打吹公園の整備にあたっての方向性等について問う。打吹公園は桜の名所100選にもなっている。近年桜の木の勢いが衰えているようだ。樹木等の管理及び整備計画についてお聞きする。



『建設部長答弁』打吹公園の利用者は、平成23年から平成26年の1年間利用者は18.5万人から19万人で横ばいとなっている。打吹公園(市ホームページより)春(3月～5月)が年間の8割を占める。飛龍閣は平成24年1577人、平成25年1206人、平成26年(2月末まで)1780人である。来年度はサル舎や遊歩道の整備をすすめる。鳥舎のリニューアル等も含めて、市民に親しまれる公園として整備していきたい。

桜の木の手入れ法として「不定根誘引法」でかなり根が出て効果があることがわかった。平成25年には植樹もしている。老木の伐採、施肥等様々な方法で桜1000本、ツツジ4000本の管理を含め、「日本の都市公園100選」「桜の名所100選」の名に恥じないよう努めたい。

倉吉市議会情報

市議会の取り組み、特色などについて簡単にお知らせします。

今回は、次の3点についてです。①手話通訳実施によるテレビ中継開始：今議会より本議会(一般質

問)において手話通訳の実施が始まりました。手話通訳者の皆さん大変お世話になりました。

- ②中心市街地活性化調査特別委員会：1月26日(月)、倉吉市中心市街地活性化協議会タウンマネージャーの麻田雄一氏を招いて勉強会を開きました。国への認定申請に向けて作業も大詰めです。



<教育福祉常任委員会>

- ③教育福祉常任委員会：平成27年度当初予算に関わって、福祉・教育の両面から慎重・闊達な委員会となりました。学校・保育所再編、制度改革等もあります。委員としてこれまで以上にしっかりと取り組んでまいります。